



4月 パストラル 卯月 加古川

K A K O G A W A

令和元年 3月 25日
[編集・発行]
パストラル加古川
加古川市平岡町
新在家 1224 番 16
発行責任者：山本弘樹

近隣のイベントのご案内

姫路・三木美術館

「姫路城を臨む美術館」

日本の野山などを描いた風景画展『自然を見つめる』と『唐津-KARATSU-』が同時開催されています。

絵画では、日本の美しい自然を描いた作品が展示され、作家が自然に向けるまなざしに注目です。

陶磁器では、唐津の作品が一手に紹介されています。近代の中里太郎右衛門（十三代）など素朴で重厚感のある作品をご覧ください。

【開催日】 5月17日（日）まで

【入館料】 一般300円

【開館時間】 午前10時～午後6時

【休館日】 月曜日、火曜日（5月4日、5日は開館）

【開催場所】 姫路市本町241番地

JR姫路駅、山陽姫路駅下車

大手前通りを姫路城方向へ徒歩約8分

【お問い合わせ】 ☎079-284-8413

せせらぎコンサート

愛と勇気と冒険と 気軽にオーケストラ



加古川フィルハーモニー管弦楽団による演奏で、今年も春の風と共に親しみやすいクラシックとポップスの名曲をフルオーケストラでお楽しみ頂けます。

【開催日時】 4月29日水・祝午後2時開演

【開催場所】 加古川市民会館 大ホール

【チケット料金】 全席自由・税込 一人800円

【お問い合わせ・チケット購入】

☎079-424-5381

第5回はりま風薫るフェスタ

ふれあいや学びをテーマに、さわやかな気候の中「楽しい！」が盛りだくさんの春の青空イベント。

【開催日】 4月25日（土）雨天の場合は26日（日）

【開催場所】 午前10時～午後3時

【開催場所】 播磨町大中遺跡公園・野添であい公園・野添北公園

【お問い合わせ】

☎079-435-0565

いなみ野山野草展

【開催日】 4月25日（土）～26日（日）

【開催場所】 稲美町立ふれあい交流館

研修室・ギャラリー 稲美町国安1286-1

【お問い合わせ】 ☎079-492-7700



4月（卯月）

二十四節気「清明（せいめい）」

・玄鳥至（つばめきたる）4月5日頃

燕が南の国から渡って来る頃。「玄鳥」（げんちょう）とは燕の異名です。

・鴻雁北（こうがんきたる）4月10日頃

雁が北へ帰って行く頃。雁は夏場をシベリアで、冬は日本で過ごす渡り鳥です。

・虹始見（にじはじめてあらわる）4月15日頃

雨上がりに虹が見え始める頃。淡く消えやすい春の虹も次第にくっきりしてきます。

二十四節気「穀雨（こくう）」

・萍始生（あしはじめてしょうす）4月20日頃

水辺の葦が芽吹き始める頃。葦は夏に背を伸ばし、秋に黄金色の穂をなびかせます。

・霜止出苗（しもやみてでないす）4月25日頃

霜が降りなくなり、苗代で稲の苗が生長する頃。霜は作物の大敵とされています。

・牡丹華（ぼたんはなさく）4月30日頃

牡丹が大きな花を咲かせる頃。豪華で艶やかな牡丹は「百花の王」と呼ばれています。



■新型コロナウイルスに感染しないために

まずは、一般的な感染症対策や健康管理を心がけてください。具体的には、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒などを行い、できる限り混雑した場所を避けてください。また、十分な睡眠をとっていただくことも重要です。屋内でお互いの距離が十分に確保できない状況で一定時間を過ごすときはご注意ください。

（1）手洗い

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗います。

（2）普段の健康管理

普段から、十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておきます。

（3）適度な湿度を保つ

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では加湿器などを使って、適切な湿度（50～60%）を保ちます。

■ほかの人にうつさないために

<咳エチケット>

咳エチケットとは、感染症を他者に感染させないために、咳・くしゃみをする際、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえることです。

対面で人と人との距離が近い接触（互いに手を伸ばしたら届く距離でおおよそ2mとされています）が、一定時間以上、多くの人々との間で交わされる環境は、リスクが高いです。感染しやすい環境に行くことを避け、手洗い、咳エチケットを徹底しましょう。



近隣の桜の名所

教信寺

天台宗の寺院で本尊は阿弥陀如来です。樹齢100年近い老木をはじめとする約60本のソメイヨシノが咲き誇り、境内を彩ります。

住所：加古川市野口町 野口465

アクセス
JR 加古川駅から東加古川駅行きの神姫バス約15分「野口」から徒歩1分

☎079-422-7189

いなみの万葉の森 陶板歌碑

磯の上に 生ふるあしびを
手折らめど 見すべき君が
ありと言はななく

作者 大来 皇女

歌意

磯のほとりに生えているあしびを手折ろうと思うが、これを見せたい君が、まだ生きていると誰も言うてくれない。

